

様々な分野の若手研究者が、各クールの共通テーマに沿って先端的で興味深い取り組みを発表します。発表内容を踏まえたフリーなディスカッションを通して、互いの理解を深め、この機会にみなさんの「研究」や「学び」に生かしませんか？

5/19 こどもから高齢者まで 健康を見守るセンシング技術

FRIDAY 12:20

近年、機械やロボットの家庭への導入が進んでいます。機械やロボットは人間の代わりとなる作業を行うことが一般的とされていますが、我々の研究ではロボティクス技術のなかでもセンシングに着目し、健康見守り技術としての応用研究を行っています。その中で特に、発表者は家庭における生活の中での無意識な計測に視点を向け、無拘束非接触センシングによるこどもの成長見守りや高齢者の疾病検知に関する研究を行っていますので、これらの研究について紹介します。

岡田 志麻 [理工学部 准教授]

第1クール 共通テーマ

タイバースィティが生む イノベーション

女性研究者による発表

6/09 疲労骨折リスクを低下 させるための栄養補給方法

FRIDAY 12:20

運動は骨を増やします。しかし、アスリートでは疲労骨折をする人が多く見られます。骨が強くなるはずの運動をしているのに骨折してしまうのはなぜでしょうか。この現象に関する研究紹介と実際にスポーツ健康科学研究科で行った実験を紹介します。

池戸 葵 [スポーツ健康科学研究科 博士課程後期課程/
立命館グローバル・イノベーション研究機構 リサーチアシスタント]

毎週 金曜日 12:20-12:50

立命館大学 びわこ・くさつキャンパス
フォレストハウスF110

参加無料 [おにぎり・コロッケ付]

5/26 古代マヤの世界を支配 していた宇宙のリズム

FRIDAY 12:20

マヤ文明が栄えた中米のジャングル。川の浅瀬にぼっかりと開いた深い穴——そこで見つかったのは、目を見張るほど美しい「縞模様の泥」でした。その縞模様記録された歴史を紐解くと、最近の温暖化と嵐の関係、熱帯の雨を支配する太陽の姿が見えてきました。泥の古文書から今を生きる私たちが直面している気候変動の謎に迫ります。

北場 育子 [古気候学研究センター 特別招聘准教授]

6/02 二型糖尿病の新たな創薬標 的因子の探索をみすえた膵β 細胞インスリン分泌制御機構 の理論解析

FRIDAY 12:20

わが国の二型糖尿病患者数は生活習慣の欧米化・社会の高齢化に伴って急速に増加しています。新たな創薬標的因子の探索のためにも、膵β細胞の複雑なインスリン分泌制御機構を包括的に理解することが重要です。私たちは、細胞モデル構築、またそのシミュレーション、数値・数理解析を行うことで、多くの細胞内要素によって複雑に制御されているインスリン分泌における動的分子機構の解明を目指しています。本セミナーでは、消化管ホルモンであるインクレチンのインスリン分泌増強作用機序の理論解析を行った結果をご紹介します。

竹田 有加里 [生命科学部 特任助教]